Panasonic®

施工説明書
取扱説明書

保管用

SmartArchi
壁面用埋込型照明器具

（一般屋内用）

品番 NYY65500 BP9

・器具の取りつけには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼して下さい。

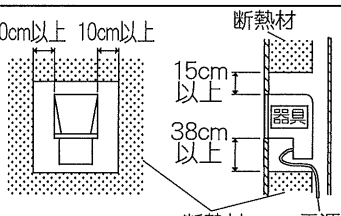
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠ 危険

●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。
・住宅の断熱施工壁には
使用できません。

グラスウール施工不可

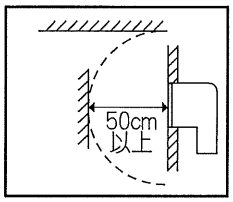


器具は、断熱材・防音材・造営材等と左図のような空間を設けて施工してください。

注）電源線は断熱材の裏を通してください

⚠ 警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
●器具の改造及び構成部品(ソケットなど)の交換をしない。火災・感電・落下の原因となります。
●壁面埋込み専用器具です。天井、傾斜天井、補強のない壁面には取りつけない。
横向き、逆さ向けには取りつけない。指定外取りつけは火災・落下の原因となります。
●表示された電源電圧(定格電圧±6%)以外の電源で使用しない。火災・感電の原因となります。
●器具と被照射物の距離は、50cm以上離す。過熱による火災の原因となります。
●器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると火災の原因となります。



⚠ 注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。火災・感電・落下・サビの原因となります。
●周囲温度は、5～35℃以外では使用しない。火災またはランプ短寿命の原因となります。
●器具の取りつけ部以外の本体外郭が、壁面内の造営物等の設備に触れない様に施工する。
火災の原因となります。

施工のご注意

●ボルト取りつけ専用です。指定された寸法を守って施工してください。**施工不良が生じる恐れがあります。**
●施工時に器具周辺に施工上の空間を必要とします。壁面裏には、器具周辺に障害物がないことを確認してください。
●アルミ板など取付面が薄い場合は、補強板にて9mm以上にしてください。
●この器具はケアフル施工品です。開口寸法のバラツキによる隙間を吸収できる枠がありませんので、推奨する開口寸法を逸脱する場合は、大きな隙間を生じることがありますのでご注意ください。
●反射板・光源ユニットを取付ける時は手袋を着用してください。
●取りつけ面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつけてください。
サビや変色の原因となります。
●漏電ブレーカの感度電流を設定する際には、以下の事に注意してください。
漏電ブレーカの誤作動誤動作の原因となります。
1）ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
2）単相3線200Vで片切りスイッチを使用する場合は、ランプ点灯時よりも消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
注）無負荷時の漏洩電流の測定は、点灯時の漏洩電流測定後に下記の方法で行ってください。
消灯後、(ランプ装着状態で)約5秒後にスイッチを入れ、点灯(放電)開始までの間に測定してください。

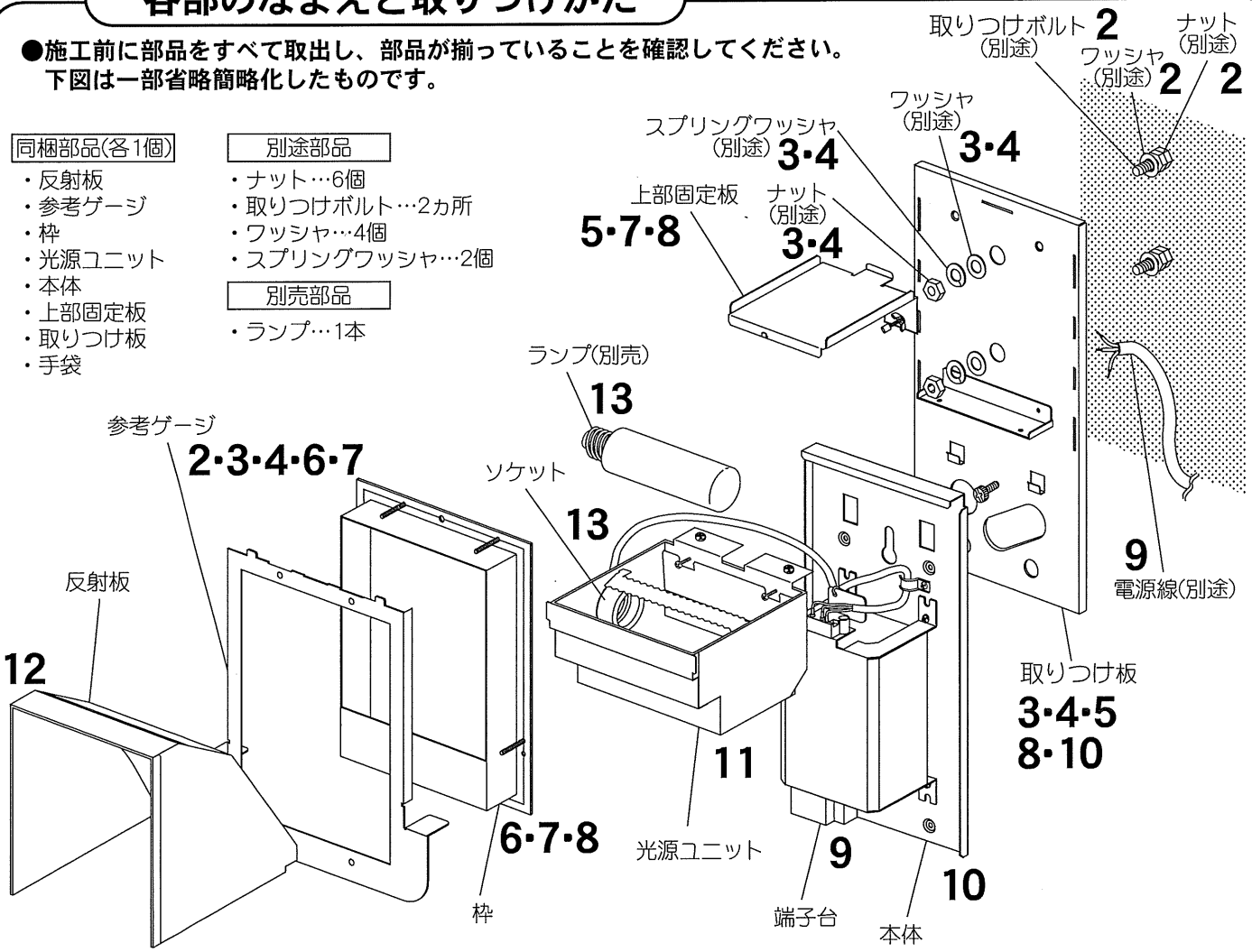
各部のなまえと取りつけかた

●施工前に部品をすべて取出し、部品が揃っていることを確認してください。
下図は一部省略簡略化したものです。

同梱部品(各1個)
- 反射板
- 参考ゲージ
- 枠
- 光源ユニット
- 本体
- 上部固定板
- 取りつけ板
- 手袋

別途部品
- ナット…6個
- 取りつけボルト…2ヵ所
- ワッシャ…4個
- スプリングワッシャ…2個

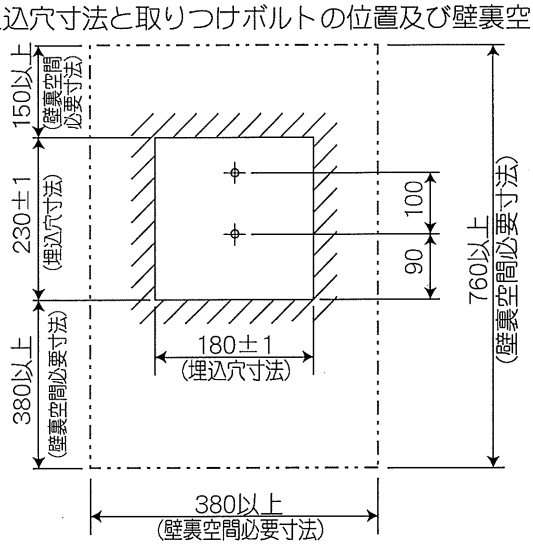
別売部品
- ランプ…1本

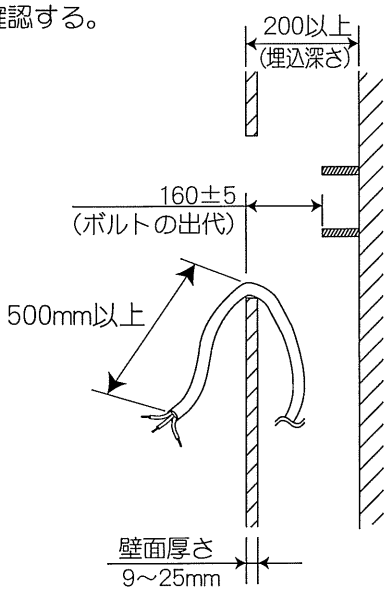


1.取りつけ前の確認

器具質量(4.7kg)に十分耐えるよう取りつけ部の強度を確保する。
取りつけに不備があると器具落下の原因となります。
この器具はケアフル施工品です。開口寸法のバラツキによる隙間を吸収できる枠がありませんので、推奨する開口寸法を逸脱する場合は、大きな隙間を生じることがありますのでご注意ください。

・埋込穴寸法と取りつけボルトの位置及び壁裏空間必要寸法を確認する。





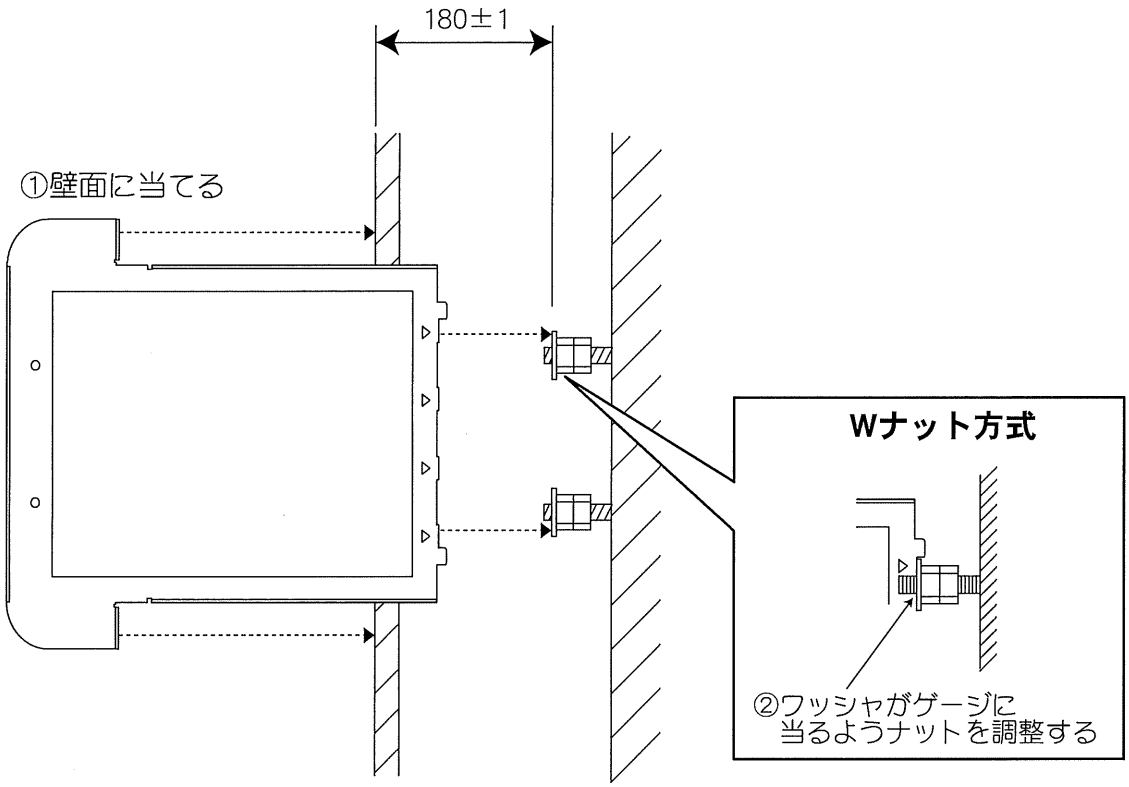
・壁面厚さを確認する。

・電源電線を、埋込穴より500mm以上引き出しておく。
不備があると取りつけ板に本体を取りつけることができません。

各部のなまえと取りつけかた

2. 参考ゲージを使用して、取りつけボルトにつけるナット(2個)+ワッシャの奥行き位置決めをする

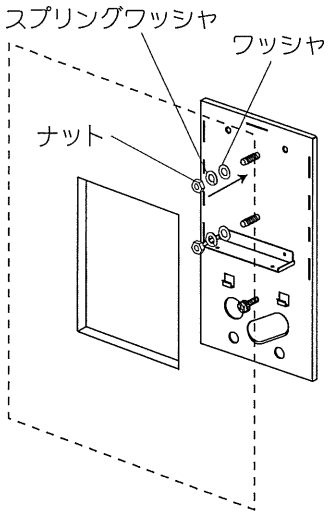
位置決めに不備があると器具が取りつかない原因となります。

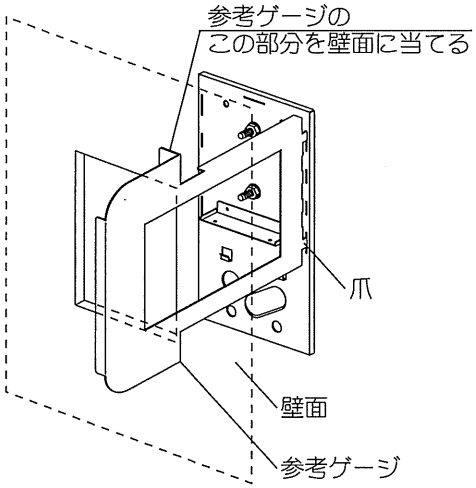


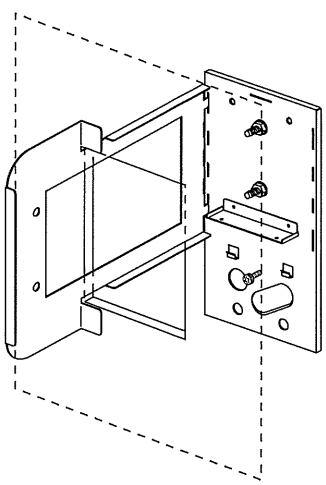
3. 取りつけ板を取りつけ、ナットとワッシャにて仮固定する

①ナットとワッシャにて取りつけ板を仮固定する。

②参考ゲージの爪を取りつけ板の穴に差し込み取りつけ板がまっすぐになる様に調整する。

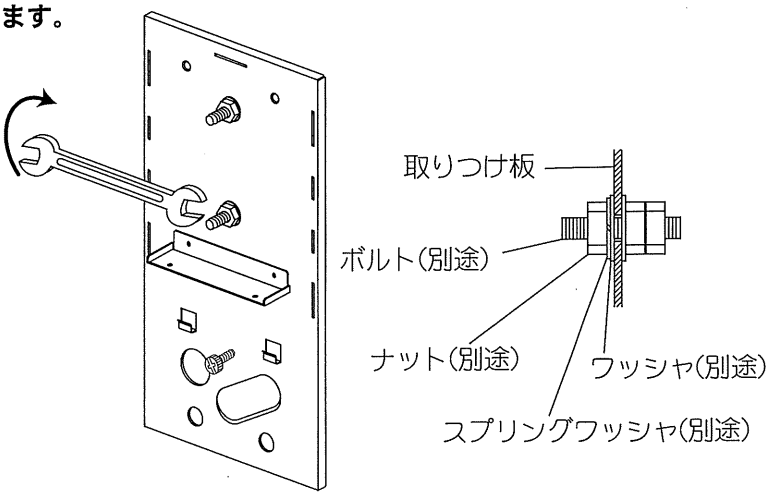




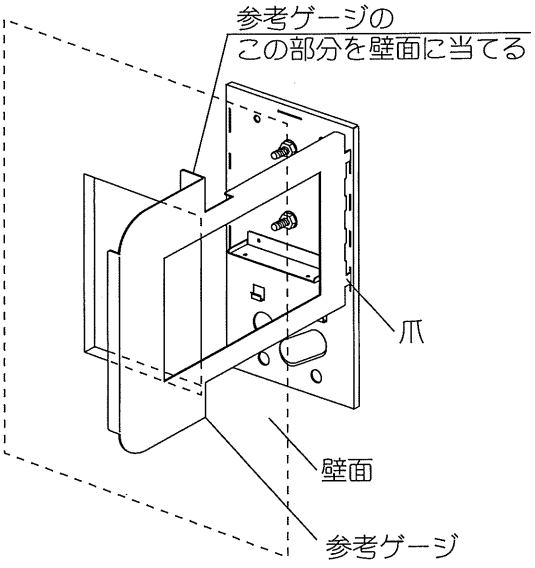


4. 取りつけ板をボルトに固定する

①スパナ等を使用し、しっかりと固定する。
取りつけに不備があると落下の原因となります。

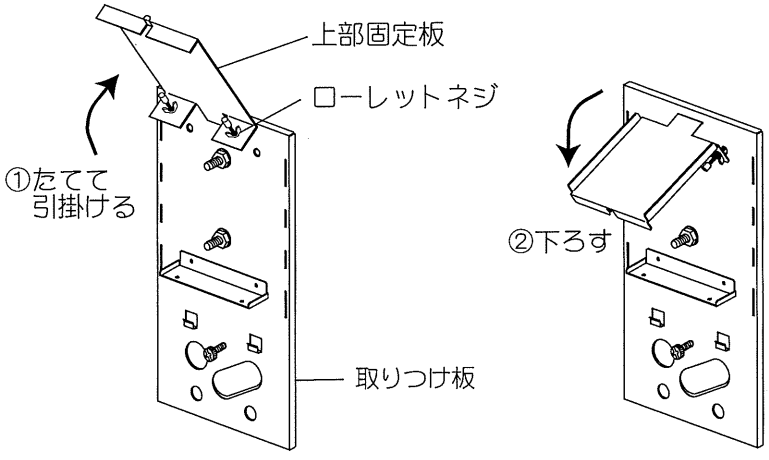


②再度、参考ゲージの爪を取りつけ板の穴に差し込み
取りつけ板がまっすぐであることを確認する。



5. 取りつけ板に上部固定板を引掛ける

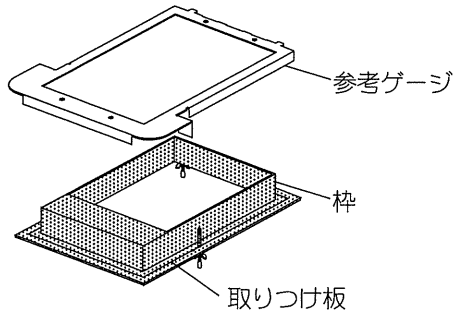
上部固定板を取りつけ板のスリット穴に立てて引掛ける。
上部固定板を引掛ける際は上部固定板のローレットネジが下側になるように上部固定板をたてる。

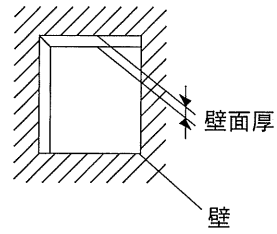


6.枠の厚みを調整する

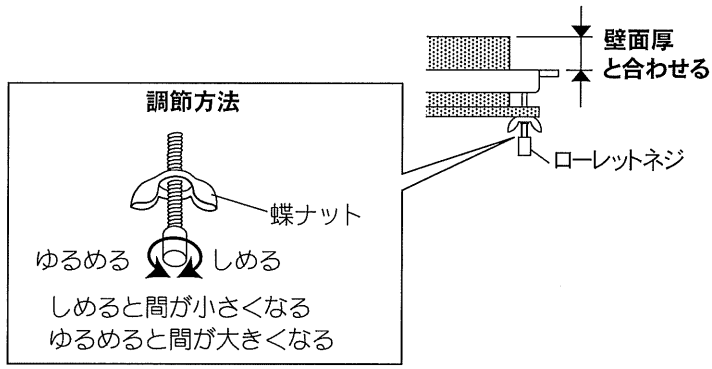
事前に取りつける壁面厚さを測定し、ローレットネジで枠の厚みを
壁面厚さに調整した後、蝶ナットでゆるみ止めをする。
調節に不備があると枠と壁面に段差ができます。

①参考ゲージと取りつけ板を重ねる。



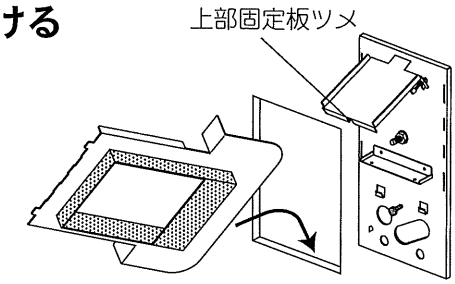


②ローレットネジ(4ヵ所)で枠の厚みを調整し
蝶ナットでしっかりと固定する。

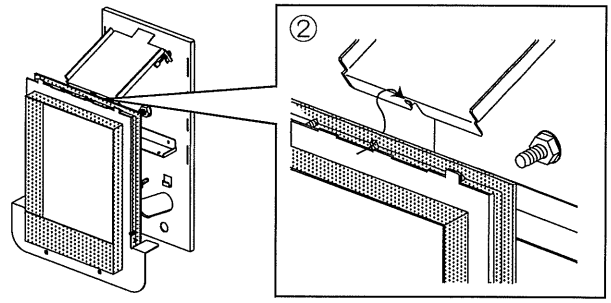


7.上部固定板に枠と参考ゲージを重ねた物を引掛ける

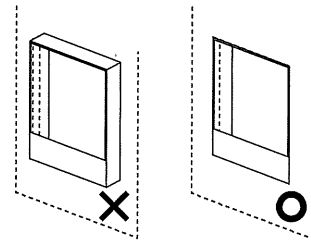
① 参考ゲージと枠を重ねた状態で埋込穴から壁の中に
斜めに差し込む。



② 参考ゲージと枠を重ねたまま枠の
穴に上部固定板のツメを引掛ける。



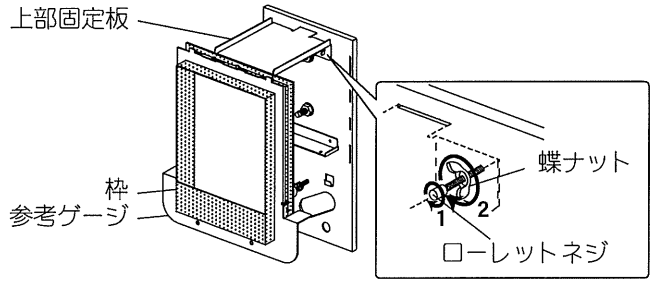
③ ②で引掛けた参考ゲージと枠を重ねたものを壁面の穴にはめ込む。
壁面と枠に段差がある場合は6.に戻り再度、枠の飛び出し高さの調節を行なう。



取説No.NYY65500−T4

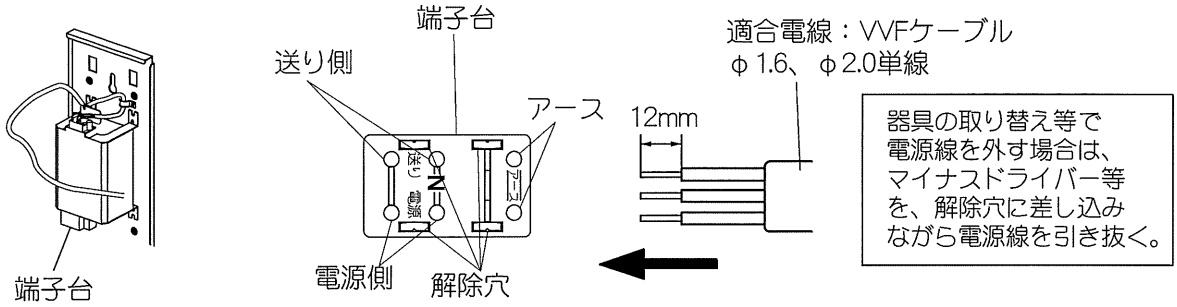
8.上部固定板で固定する

上部固定板を枠と共に壁面側に引きよせてから、
上部固定板の取りつけ板側にある、二個のローレットネジを交互に回して
取りつけ板に左右均等な力が掛かるよう押し当てた後、蝶ナットでゆるみ止めをする。
取りつけに不備があると落下の原因となります。



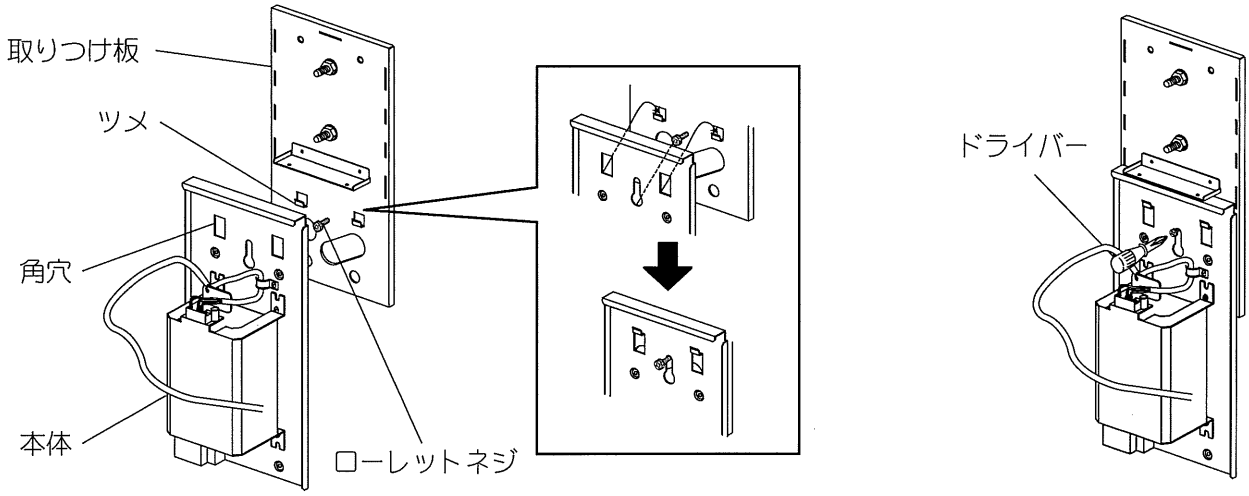
9.電源線を接続する
（光源ユニットに触れる場合は必ず手袋を着用してください。）

・D種（第3種）接地工事が必要です。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。
注）送り容量は20A以下です。



10.取りつけ板に本体を取りつける
（光源ユニットに触れる場合は必ず手袋を着用してください。）

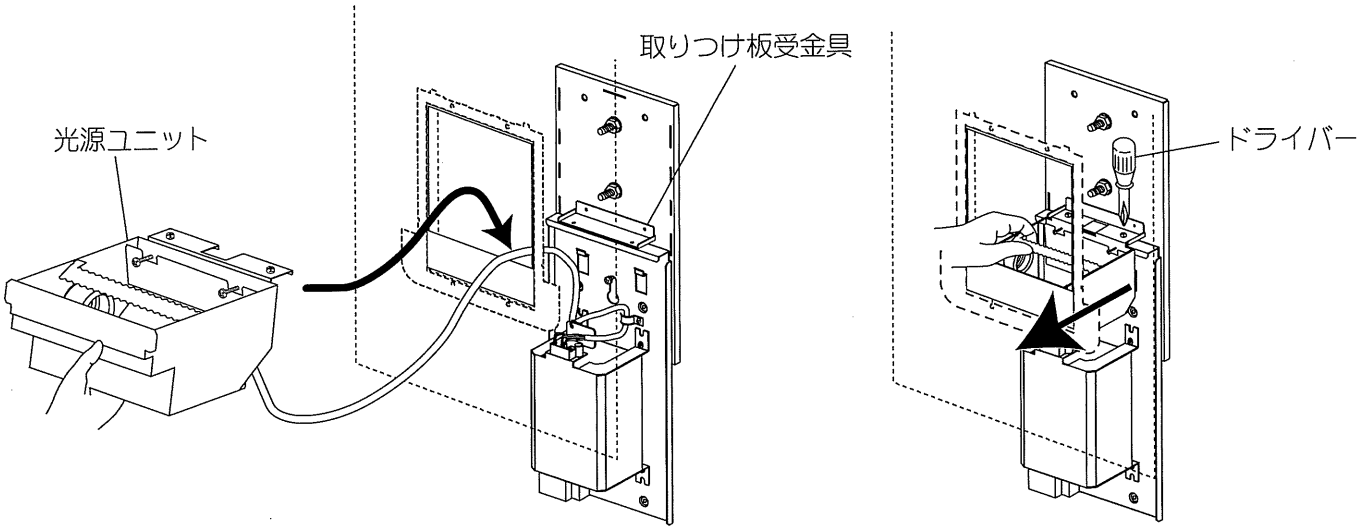
取りつけ板のツメに本体の角穴を合わせて仮取りつけする。
ドライバーを使用しローレットネジで本体を固定する。
取りつけに不備があると落下の原因となります。
注意：この図は壁面、参考ゲージ、枠、上部固定板を省略しています。



各部のなまえと取りつけかた

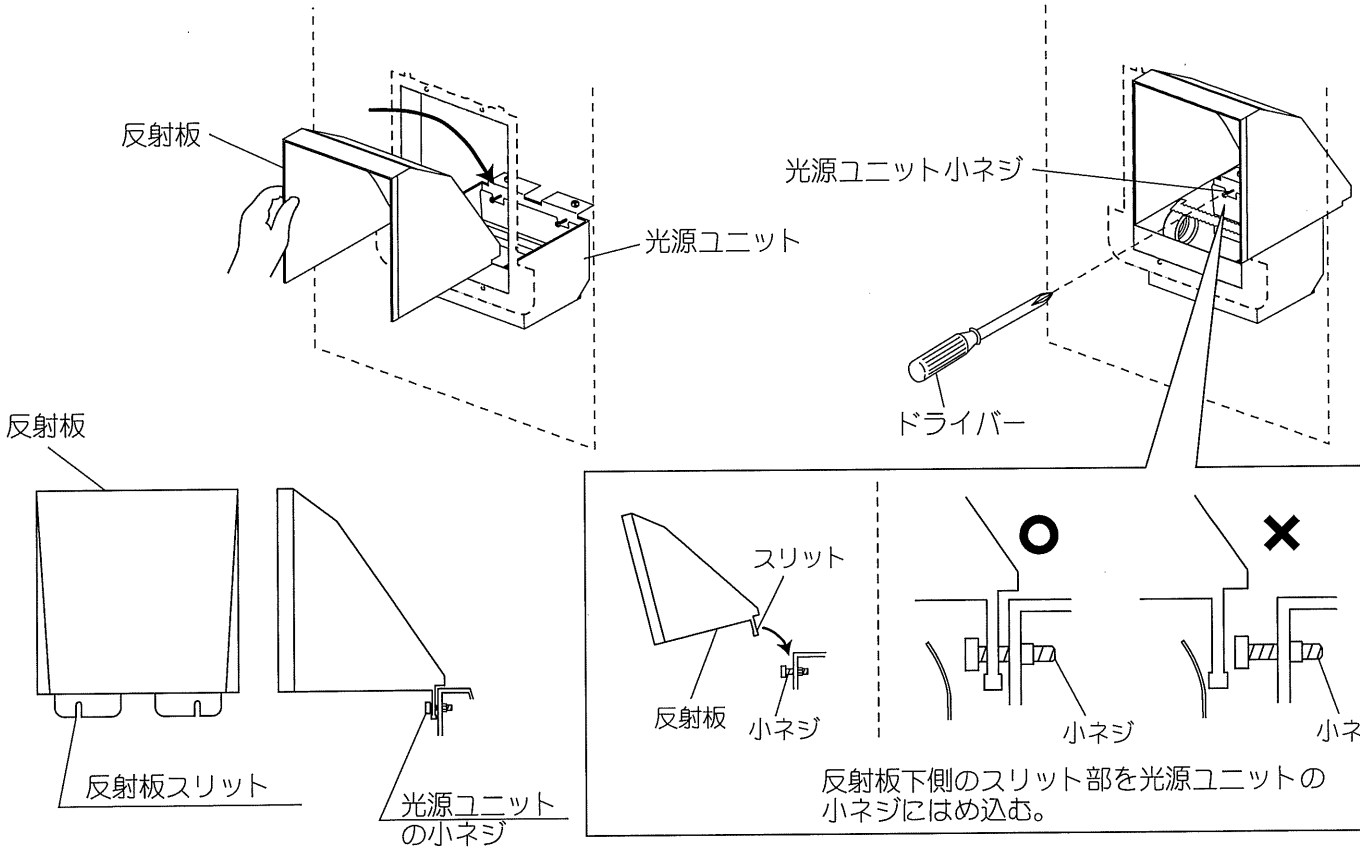
11. 光源ユニットを取りつける
(光源ユニット取りつけ時は必ず手袋を着用してください。)

光源ユニットを図の様に持ち、取りつけ板受金具と枠との間に入れる。
光源ユニットを手前枠側に引き寄せて、ドライバーでネジを2ヵ所締め付ける。
取りつけに不備があると落下の原因となります。



12. 反射板を取りつける
(反射板取りつけ時は必ず手袋を着用してください。)

反射板下側のスリット部を光源ユニットの小ネジにはめ込み、反射板と枠に段差が出来ていないことを確認した後、ドライバーで小ネジを回してしっかり固定する。
(締付けトルク 0.7~0.9 N・m (7~9kgf・cm))



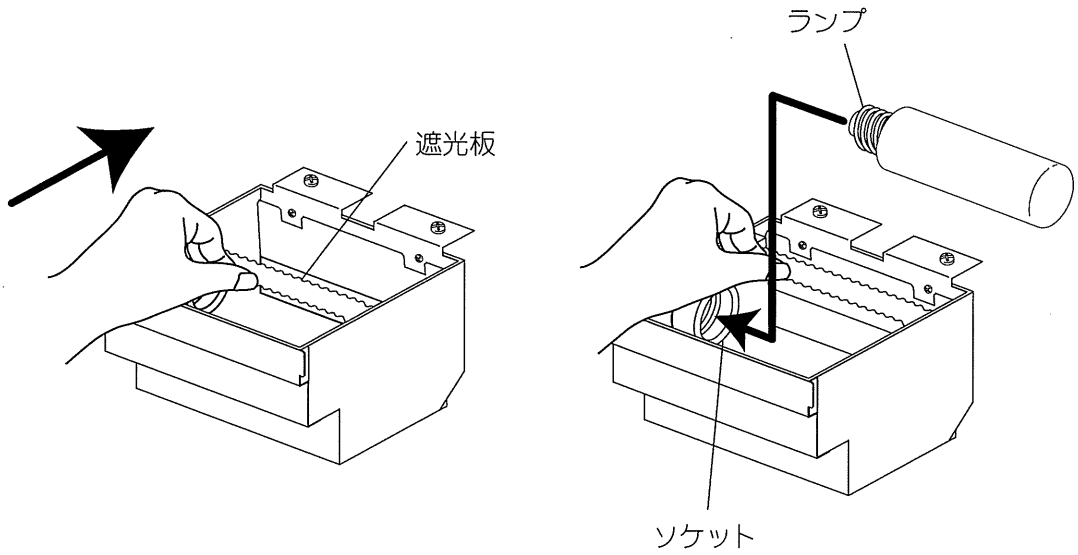
13. ランプをソケットに取りつける

遮光板を反射板の奥まで、指で押しながらランプをソケットに最後まで確実にねじ込む。

・ランプのねじ込みが不十分な場合、落下・故障の原因となります。

・ランプのねじ込み後、遮光板とランプが平行になるようランプを調整してください。
ランプが平行に取り付いていない場合、照射面に光のムラが出る可能性があります。

注意：この図は反射板部分他を省略しています。



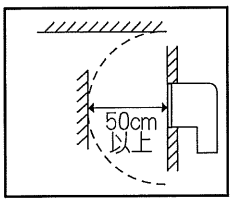
取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管してください。**

ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●器具の改造および構成部品(ソケットなど)の交換をしない。
　火災・感電・落下の原因となります。
●異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。
　火災・感電の原因となります。
●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
●器具と被照射物の距離は、50cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。
●アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。



⚠ 注意

●器具の下に温度の高くなる物(ストーブ・ガスレンジ等)や湿気を発生させる物を置かない。
　火災の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
　点検・交換してください。
　※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
　3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
　点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

●安定器内蔵、ランプ別売です。
●適合ランプ以外は使用しない。パルス電圧により焼損の原因となります。
●光の影響を受けやすい商品(毛皮・呉服・絵画等)には長時間使用しない。変退色の原因となります。
●ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
　雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
●同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
　事前に確認し、対策を講じてください。
●点灯中のランプを消してすぐに電源を入れてから、ランプが始動するまで約10分かかります。
●壁面裏からのランプ交換はできませんので、ご注意ください。
●容易に触れる恐れのない場所・高さに設置してください。感電・火傷の原因となります。

保証について

●保証について…… この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
　ランプ等の消耗品は除きます。　詳細は弊社カタログをご参照ください。

●保証書について…… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

●補修用性能部品の保有期間…… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、
　6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

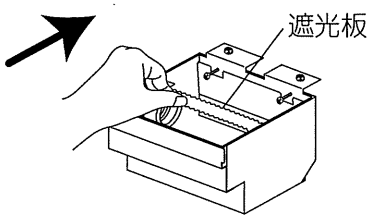
取説No.NYY65500－T4

お手入れについて　⚠ 注意（必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。）

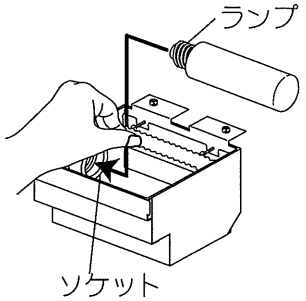
●器具の清掃について・・・・ 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

●ランプ交換について・・・・ 本体表示にしたがって、下記の指定されたパナソニック製のランプを使用してください。
注意：下図は反射板部分他を省略しています。

①遮光板を反射板の奥まで、指で押す。



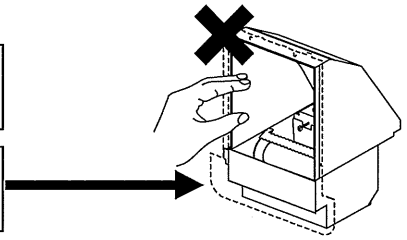
②ランプを交換する。
ランプをソケットに最後まで確実にねじ込んでください。
・ランプのねじ込みが不十分な場合、落下・故障の原因となります。
・ランプのねじ込み後、遮光板とランプが平行になるようランプを調整してください。
ランプが平行に取り付いていない場合、照射面に光のムラが出る可能性があります。



適合ランプ

セラメタ150形（拡散形）
MT150FCE−LW−2
MT150FCE−WW−2
MT150FCE−W−2

⚠警告	■**指定以外のランプは使用しない** 火災の原因となります。
⚠注意	■**点灯中や消灯直後はランプや その周りをさわらない** やけどの原因となります。



パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット 〒571−8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様 ご相談センター　0120-878-365(フリーダイヤル)　0120-878-236(FAX)

T0407−041113